

「イクケン香川」子育てでカレッジ

＜発達が気になる子ども支援学科＞



日時●2018年1月24日(水) 10:00~12:00

会場●ユープラザうたづ(綾歌郡宇多津町浜6番丁88)

プログラム

10:10~11:25 講演会

演題: 発達が気になる子どもに、どう関わるか。

~乳幼児期の子育てについて~

講師: 川田 行雄先生

11:30~12:00 ペアメンCafé体験会

協力: NPO 法人ペアレントメンターかがわ

参加者数: 大人 45名

発達が気になる子どもに、どう関わるか。~乳幼児期の子育てについて~

元西部子ども相談センター所長・臨床心理士 川田 行雄 先生

乳幼児期の中でも特に0歳、1歳、2歳の子どもの発達と愛着形成、「自我」のめばえなど、成長に沿って、順にお話がありました。参加者1人に1枚の白紙を配付。自分の記憶にある最初の場面を描くことから始まりました。多くの人が3歳~5歳頃の場面を描いていました。その頃が人の自我が芽生える時期であるため、記憶に残ると言われています。



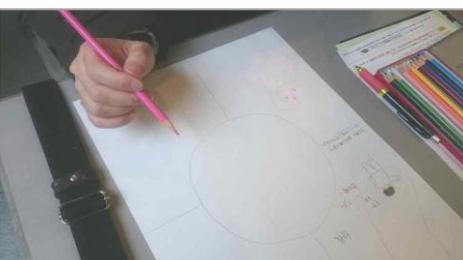
では、その前の記憶にない0, 1, 2歳児は、どのような時期かという、みんな発達障がいの状態と言えます。未熟な状態から発達することで、自我を持ち、他者とコミュニケーションできるようになります。



白紙に赤ちゃん、1歳児、2歳児を描いていきます。足りないものは?・・・母親を描き加えました。

赤ちゃんにとっては、母親等の保護者と愛着形成できるかが、その後の発達に大きく影響します。親の真似をしながら成長しますが、行動だけでなく感情もコピーされて愛着が生まれます。

1歳で自分に目覚め、2歳では自分と他者の二者関係がわかるようになり、他者との関係性に気づきます。この二者関係を理解できるようになると、発達障がい状態から抜け出していきます。



0歳児は「神様」、1歳児は「王様」、2歳児は「王子様」だそうです。すでに幼児に成長してその時期を過ぎていても、自分の子どもに合わせて、立ち戻って接し方を変えることが、子どもの変化につながるということでした。また、親の叱り方や接し方を模倣して育つので、こうしてほしいと思うことを手本を見せて、真似したらほめてやることを続けていくことも必要です。

【ペアメン Cafe 体験会】 NPO 法人ペアレントメンターかがわ

ペアメン Cafe とは、参加者 4~5 名のグループに 1 人のペアレントメンターが加わり、お互いの体験を語り、情報交換する座談会です。通常は香川県内各地で 2 時間行っています。今回は体験会ということで 30 分間でした。

話題は、自己紹介、自分の子どもの様子、親としての悩みや子育てで困ったことや苦しかったことなど。短い時間でしたが、同じ親の立場で自分に近い悩みや経験を聞くことと、自分の話を聞いてもらうことで、得るものがあったようです。



男性参加者は、男性だけのグループを作って、父親同士の体験で話が尽きないようでした。

参加者アンケートより(一部抜粋)

- 子どもに対する接し方を工夫し、少しでもできることが増えるように、できることが残るように接していこうと思った。(30代・男性)
- 正直、恥ずかしい、面倒くさいという気持ちがあったが、もっと積極的に情報を集めたり、話をしなければならなかった。(30代・女性)
- 病院に行くのがためられるので、今回のような場所でいろいろな話を聞けて、非常に有意義でした。(30代・男性)
- 同じような子を持つ方とお話できることは、すごく安心できます。園では他のお母さんとは話しにくいので。(30代・女性)
- 今からでもできることや、関わり方を学ぶことができ、子どものためにいかしていけたらなあと思いました。(20代・女性)
- 自分の子どもがどういう段階にいるのか、親が何をしていくのがよいかという気づきになりました。(30代・女性)
- 育児書で読むより分かりやすかった。先生の雰囲気も良く、聞きやすかったと思う。(30代・女性)
- 生の声を聞いたり、話を聞いてもらえることでこんなに心が楽になることに驚きました。(30代・女性)
- ペアメンカフェでは、同じくらいの年の子どものお母さんと話ができ、身近に話せる人がいなかったの、本音で話せて良かったです。近くで開催されるときは参加したいなと思いました。(20代・女性)
- 体験談を聞いて良かった。もう少し自分の話を聞いてほしかった。(30代・女性)
- メンターさんの話が多かったので、他の参加者の話をもっと聞けたら良かった。(30代・女性)
- 同じように感じている方が多くいることに、安心しました。(30代・女性)
- 夫と一緒に、こういった時間が持てたことが良かったです。(30代・女性)
- 一人で悩んだりするより、新しくみつけたり、進むことが大切だと思いました。(30代・女性)